

hot news

有望市場・中国との経済交流を促進

●本市初の海外駐在員事務所を北京に開設

市では、市内経済の活性化を目指し、中小企業への支援や国内外の観光客・コンベンションの誘致に全力を注いでいます。その施策の一環として、十一月十一日、中国の首都・北京に本市初の海外駐在員事務所を開設。総人口が十二億を超え、地理的にも近い中国を有望な市場ととらえ、

積極的な経済交流を進めていきます。

対中国ビジネスの足掛かりを担う事務所は、主に二つの機能を備えています。一つは、「情報収集・発信の拠点」。具体的には、現地の生の経済情報を集め、札幌の中小企業が中国でビジネスを展開するための支援を行います。一方、

中国側には、札幌の観光情報を幅広く提供。目覚ましい経済成長が続く中国から、今後多くの観光客を呼び込んでいく考えです。

もう一つは、現地でのさまざまな活動を円滑にするための「人的交流の拠点」。中国の政府系機関を中心とするネットワークづくりなど、幅広い観点から交流のための環境づくりに取り組んでいきます。

【詳細】産業振興課 ☎(211) 2352

hot news

豊かな森を次の世代に引き継ぐために

●旭山記念公園の森づくりを市民参加で

平成十三年から、市民参加で再整備を進めている旭山記念公園。その森づくりの在り方について考えるワークショップを開催します。

園内の自然環境の大部分を占める植樹林は、三十年余り前に、結婚や会社設立などを記念して植えられたもの。現在、山を覆うほどの大きな森に成長したものの、過密な状態にあるだけでなく、枯れ木なども数多くあります。

こうした状況を踏まえ、再整備計画では「一人ひとりが植えた木をみんなの森として

とらえ、必要な手を加えながら次の世代に継承していく」という方針を掲げました。

この考え方に基づき、ワークショップでは、皆さんと一緒に笹刈りや記念プレートの取り外しを実践しながら、森全体の健全化や間伐の必要性などを話し合う予定です。なお、当日参加できない方のご意見も募集します。詳細はホームページをご覧ください。

【詳細】公園計画課 ☎(211) 2522、FAX(210) 0276、E:koenkeikaku@kankyo.city.sapporo.jp

【詳細】環境対策課 ☎(211) 2882



当時の記念植樹の様子。昭和42～47年に約5,600本が植えられました

川4)。動きやすい服装で直接会場へ。昼食持参。

【詳細】産業振興課 ☎(211) 2352

「みんなの水辺」を守る、はぐくむ

●札幌の特性を踏まえた「水環境計画」を策定



河川を中心とする札幌の水辺環境。今後、地域の特性に応じた水辺づくりに取り組んでいきます

hot news

南西部に緑豊かな山地を抱え、五百九十もの河川が流れる札幌の街。水道の水源をすべて担う河川をはじめ、湖沼や人工水路、地下水など、市内のあらゆる水辺を潤いあふれるものにしていくために、このほど「水環境計画」を新たに策定しました。

計画の策定に当たっては、アンケートや素案の公表を通じて幅広い意見を募集。寄せられた声を踏まえ、「水量」「水質」「生息環境・水辺とのふれあい」という視点から三つの望ましい水環境像を設定しました。これらの理念に基づき、河川や地下水などの水量・水質を良好な状態に保つとともに、緑地や生物と共生

できる環境づくりを具体的に進めていきます。

計画の実効性を確保するため、今後、市民・事業者・行政の協働により、地域別の目標を設けていくのも大きな特徴です。「豊平川」「新川・星園川」「茨戸川」の三つの流域を「山地」「住宅」「都心」「平地」という観点で十一カ所に区分。住民や市民活動団体とともに、地域の特性に応じた個性あふれる水辺づくりに取り組んでいきます。

計画の目標年次は平成二十九年度。目標の達成状況などを評価しながら、五年ごとに内容を見直す予定です。